

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	生涯学習課	職	課長	氏名	坂井 芳子
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり	県立生涯学習施設年間利用者数	人	353,000 (H27)	353,708 (H24)	(H25)	
施策2	学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上	「げんきいっぱいカード」目標達成者数	人	7,500 (H27)	7,344 (H24)	(H25)	
施策3	石川の文化や風土を生かした体験学習の推進	「いしかわ子ども自然学校」参加者数	人	5,400 (H27)	4,864 (H24)	(H25)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	県民大学の充実	石川県民大学校修了者数(累計)	人	15,000 (H27)	13,686 (H24)	(H25)	1 県民大学校費	県民	37,543			
								2 ふるさと学習推進事業費	県民	2,000			
	課題2	図書館マルチ検索・予約システムの運営	県内公共図書館蔵書情報横断検索システム年間アクセス件数	件	242,000 (H27)	171,042 (H24)	(H25)	図書館マルチ検索・予約システム運営費	県民	18,913			
施策2	課題1	心の教育の推進	親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」応募数	点	28,000 (H27)	22,471 (H24)	(H25)	心の教育推進事業費	青少年等	8,415			
	課題2	通学合宿の実施支援	通学合宿実施団体数	団体	10 (H27)	- (H24)	(H25)	家庭・地域でのいじめ・不登校等対策事業費	小学生・地域の大人	1,700			
施策3	課題1	いしかわ子ども自然学校の実施	「いしかわ子ども自然学校」参加者数	人	5,400 (H27)	4,218 (H24)	(H25)	いしかわ子ども自然学校推進事業費	小・中学校生	5,322			
	課題2	海洋チャレンジプログラムの実施	参加児童・生徒の満足度	%	100 (H27)	- (H24)	(H25)	海洋体験活動推進事業費	小学校5年生～ 中学校3年生	2,500			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 県民大学校費	事業開始年度: H2	事業終了予定年度:	作 組 織: 生涯学習センター
	根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画	成 職・氏名: 担当課長 竹林義隆 者 電話番号: 076 - 223 - 9572 内線721222

**事業の背景・目的**  
 多様化・高度化する県民の学習要求に応え、本県の豊かな自然と文化の継承発展を図りつつ、社会の変化に対応できる創造的で活力ある県民の育成を図り、生涯にわたる学習の機会を提供する。

- 事業の概要**
- 1 県民大学校・大学院の開設
    - ・大学校教養講座(30単位未満)
    - ・大学校専門講座(30単位以上)
    - 6コース: 文化探求、国際理解、スポーツ・生活、産業・情報、能力開発、放送利用
    - ・大学院石川の博士養成講座(30単位)
    - 2コース: 専修コース(文学・自然・歴史)、講師養成コース
  - 2 県民大学校・大学院修了証書交付式の開催
    - ・H24修了生に修了証書を交付
    - ・記念講演会
  - 3 講座の開設
    - ・ファシリテーター養成講座、あすなろ悠々塾、能登文化講座など
  - 4 放送利用講座の開設
    - ・テレビ番組「ふれあい空間いしかわ」(27回放送)、「いしかわ大百科」(17回放送)
  - 5 広報等
    - ・ポスター、受講案内等の作成・配布

- これまでの見直し状況**
- ・H11年度 県民大学校大学院「石川の博士」養成講座を開講
  - ・H17年度 県民の生涯学習活動を通して培った成果を発表する機会として「県民企画講座」を実施
  - ・H19年度 「生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰ・Ⅱ」を「生涯学習コーディネーター入門講座」、「生涯学習コーディネーター実践講座」に再編
  - ・H20年度 「生涯学習コーディネーター入門講座・実践講座」を「いしかわいきいき講座」、「生涯学習ファシリテーター養成講座」に再編
  - ・H21年度 「生涯学習ファシリテーター養成講座」にスキルアップ講座を設置
  - ・H22年度 「あすなろ悠々塾」を開設し、県民が自主企画した講座を実施
  - ・H23年度 事業の見直しにより、「びっくり科学教室」「地域活動指導者専門講座」を廃止  
県主催の映像関係講座の一部(シネマ・アフタヌーン、子ども映画会)を市町に移管
  - ・H24年度 「あすなろ悠々塾in能登」を開設する一方、「はじめてのパソコン教室」を廃止

施策・課題の状況						
施策	学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり				評価	
課題	県民大学校の充実					
	指標	石川県民大学校修了者数(累計)			単位	人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	15,000	12,558	13,119	13,686	14,283	

事業費						
	(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	39,650	38,382	38,092	37,376	37,543
	決算	39,650	38,315	38,090	37,336	
一般	予算	39,650	38,382	38,092	37,376	37,543
財源	決算	39,650	38,315	38,090	37,336	
事業費累計		857,925	896,240	934,330	971,666	1,009,209

評価	
項目	評価
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> ふるさと学習推進事業費	<b>事業開始年度</b>	H25	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	生涯学習センター	
	<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川の教育振興基本計画			<b>成 職・氏名</b>	担当課長 竹林義隆	
					<b>者 電話番号</b>	076 - 223 - 9572 内線721220	

**事業の背景・目的**  
北陸新幹線金沢開業を控え、子どもから大人まで広く県民が、おもてなしの心の源であるふるさとへの愛着と誇りをこれまで以上に持てるよう、石川の里山里海や文化・歴史等について知識を深める「ふるさとモット学び塾」を開設し、ふるさと学習の機会を広く提供する。

**事業の概要**

- 1 「ふるさとふれあい講座」の実施
  - (1) 本多の森庁舎会場
    - ・内 容 石川の里山里海や文化・歴史等をテーマとした全10講座
    - ・実施日 平成25年7月～11月
    - ・定 員 100名
  - (2) 現地講座
    - ・内 容 史跡・偉人ゆかりの地等を専門家とともにバスで巡る現地講座5コース
    - ・実施日 平成25年9月～12月
    - ・定 員 各コース25名
- 2 「ふるさと発見出前講座」の実施
  - ・石川の里山里海や文化・歴史等をテーマとした出前講座
  - ・実施日 平成25年7月～26年2月
  - ・対 象 小中学校15校 公民館10館
- 3 講座のインターネット配信
  - ・講師の了解を得たものをインターネット配信

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり				<b>評価</b>	
<b>課題</b>	県民大学校の充実					
	<b>指標</b>	石川県民大学校修了者数(累計)			<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	15,000	12,558	13,119	13,686	14,283	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
<b>事業費</b>	予算					2,000
	決算					
<b>一般</b>	予算					2,000
	決算					
<b>事業費累計</b>			0	0	0	2,000
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 図書館マルチ検索・予約システム運営費	事業開始年度: H5	事業終了予定年度:	作 組 織: 図書館 成 職・氏名: 企画協力グループ 司書主任 杉井 亜希子 者 電話番号: 076 - 223 - 9581 内線 77247
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画	

**事業の背景・目的**  
インターネット上に所蔵資料を公開し、利用者自らが自宅のパソコンや携帯電話で蔵書検索、貸出予約ができる機能を整備し、広く県民の図書館利用を促進する。県内全域において、より利便なサービスの提供に努める。

また、県立図書館と県内の市町立図書館や大学図書館の蔵書の所蔵情報が同時に検索できる「インターネット横断検索」システムによる、県内図書館所蔵資料のネットワークを整備する。

**事業の概要**

- (1) 図書館業務システムの管理と運用
  - ・貸出・返却、蔵書管理等の図書館電算業務の運用
- (2) 「図書館情報ネットワーク」システムの運用
- (3) 「図書館情報県民開放」システムの運用

メール予約・相互貸借利用件数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24
メール予約	14,689	16,553	17,661	18,377	16,924	17,790
うち相互貸借	8,808	9,276	9,726	9,756	9,171	10,504

- (4) 図書館横断検索システムの運用

横断検索システム利用件数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24
横断検索システム	105,485	119,167	142,093	154,458	171,042	162,418

- ◆ 石川県立図書館電算化システムの経緯
  - 平成 9年度 県立図書館電算システム導入・運用開始
  - 10年度 インターネットによる「ライブラリーネットいしかわ」の運用開始
  - 11～ インターネット横断検索システムの運用実験
  - 14年度 インターネット横断検索システム本稼動
  - 18年度 県立図書館電算システム更新
  - 24年度 県立図書館電算システム更新

- ◆ 石川県内公共図書館 電算化の現状(H25.3)
  - ・電算システム導入館:42館(県立1、市町立37、大学4)
  - ・横断検索システム参加館:42館(県立1、市町立37、大学4)

**これまでの見直し状況**  
 H18年度 業務システムに他システムの機能を一元化  
 H23年度 システム機器を再リース  
 H24年度 システム更新  
 県内図書館ポータルサイトを開設し、相互貸借に係る事務の効率化を図った

**施策・課題の状況**

施策	学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり	評価	
課題	図書館マルチ検索・予約システムの運営		
指標	県内公共図書館蔵書情報横断検索システム年間アクセス件数	単位	件
目標値	現状値		
	平成27年度	平成21年度	平成22年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	242,000	142,093	154,458
	171,042	162,418	

**事業費**

(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 予算	23,022	22,893	21,330	11,105	18,913
事業費 決算	23,022	22,893	21,305	11,088	18,913
一般 予算	23,022	22,893	21,330	11,105	18,913
財源 決算	23,022	22,893	21,305	11,088	
事業費累計	727,265	750,158	771,463	782,551	801,464

**評価**

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 心の教育推進事業費	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
	根拠法令	石川の教育振興基本計画		
	計画等			

作	組	織	生涯学習課		
成	職	氏名	課長補佐 笹山 明夫		
者	電話番号	076 - 225 - 1839 内線 5610			

**事業の背景・目的**  
 心豊かでたくましく生きる子どもを育む環境の醸成を図るため、豊かな人間性を培う「心の教育」を県民を挙げての運動となるよう努めてきたが、いじめ・不登校や非行の問題など子どもたちを取り巻く状況は、依然として憂慮すべき状況にあり、「石川の教育振興基本計画」においても、心の教育の充実を施策の方針の一つに位置づけている。  
 そのため、引き続き、学校・家庭・地域が連携した「心の教育」の充実に向けて各種事業を展開し、県民意識の高揚を図る。

**事業の概要**

1 心の教育推進総括事業

- ・心の教育推進協議会の開催  
 会長に教育長、学校・家庭・地域を代表する委員17名で構成
- ・心の教育推進大会の開催

2 家庭・地域教育力向上推進事業

- ・親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」の募集
- ・グッドマナーキャンペーンの実施
- ・子どもの生活リズム向上推進事業
- ・ラジオ広報
- ・スポーツ選手ふれあい事業

3 いじめ・不登校対策事業

- ・フレンドシップ相談員派遣事業
- ・高校生ボランティアリーダー養成事業

**これまでの見直し状況**

H17 「心の教育推進専門委員会」と「いじめ・不登校問題対策専門委員会」を「特別委員会」に一本化。  
 H19 「石川っ子すくすく大作戦心すくすくノート」、「大人と子どものふれあい読書タイム」カード、「いじめ不登校対策チェックシート」をHPに掲載。  
 (学校・家庭・保育園等で自由にダウンロード可。)  
 H21 中高生グッドマナーキャンペーンの声かけ対象を小学生にまで拡大。  
 (グッドマナーキャンペーンに名称変更。)  
 H22 生活リズム向上推進事業の対象を幼児だけでなく児童にまで拡大。  
 (幼児・げんきいっぱいカード 児童・げんきあっぷカード)  
 H23 豊かな心を育む教育推進県民会議を廃止し、新たに心の教育推進協議会を設立。  
 (「石川の教育振興基本計画」における「心の教育」の推進。)  
 H24 高校生ボランティアリーダー養成事業の実施  
 H25 ラジオ番組「いしかわ夢広場」における特別番組(講師による学校での講演)の放送

施策・課題の状況							
施策	学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上					評価	
課題	心の教育の推進						
指標	親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」応募数					単位	点
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
28,000	15,668	19,631	22,471	23,774			
事業費							
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業費	予算	15,338	12,035	10,449	9,124	8,415	
	決算	15,081	11,966	10,439	8,557		
一般	予算	15,338	12,035	10,449	9,124	8,415	
財源	決算	15,081	11,966	10,439	8,557		
事業費累計		399,007	410,973	421,412	429,969	438,384	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	家庭・地域でのいじめ・不登校等対策事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	H26	作 組 織	生涯学習課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 笹山 明夫
						者 電話番号	076 - 225 - 1839 内線 5610

**事業の背景・目的**

子どものいじめ・不登校・暴力行為等の原因や背景のひとつとして、家庭や地域の教育力の低下が指摘されており、その未然防止には、学校だけではなく、家庭や地域において、保護者や地域の人々が、いじめ・不登校・暴力行為等の状況と原因への理解を深めるとともに、当事者意識を持って子どもたちと積極的に関わることが大切である。近年、全国的にいじめの問題が注目され、学校だけではなく、家庭や地域など、社会全体での取組が強く求められている。

特に、地域の大人の子どもへの関与の減少が言われる中、親でも教師でもない地域の第三者と子どもとの「ナナメの関係」を作ることが大切であり、そのためには、学校内外で子どもが多くの人と交流する場を創出し、社会全体で子どもを守り育てる環境作りを進める必要がある。

なお、学校・家庭・地域の連携推進、社会全体の教育力の向上については、「石川の教育振興基本計画」の重要な柱として、基本目標に掲げられている。

→石川の教育振興基本計画  
基本目標6 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします。

**事業の概要**

(1) 委託内容

① 家庭や地域から未然防止を図るための「通学合宿」の実施

通学合宿: 地域の大人の協力を得ながら、異学年の子どもたちが地域の公民館などで寝泊まりしながら学校に通う取組  
(地域の大人と子どもたちの交流の場の創出: 「ナナメの関係」づくり)

※通学合宿の実施にあたっては、多くの大人が関わるとともに、実施期間中に、高齢者との交流、自然体験活動、親子共同体験等、大人が地域の子どもと関わる場を設定する。

② いじめ・不登校等に関する理解を深める講座やセミナーの開催  
委託先: PTA、公民館、青少年育成団体等 10団体

(2) 事業の普及

① 事業報告会の開催・・・事業内容の報告(県庁)  
② 事業実施報告のホームページへの掲載

施策・課題の状況						
施策	学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上					評価
課題	通学合宿の実施支援					
	指標	通学合宿実施団体数			単位	団体
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	10					
事業費						
	(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					1,700
	決算					
一般財源	予算					1,700
	決算					
事業費累計						1,700
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ子ども自然学校推進事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令	石川の教育振興基本計画		
	計画等			

作 組 織	生涯学習課			
成 職・氏名	課長補佐(青少年家庭教育)清水 茂			
者 電話番号	076 - 225 - 1837 内線 5608			

**事業の背景・目的**

「いしかわ子ども自然学校」を開校し、体験活動期間の長期化も含めたプログラムの多様化を図り、大自然の摂理を体験的に学ぶ中で、自然保護の大切さや思いやりの心を育ませたり、自然の材料を素材として先人の生活の工夫を学ばせるなどの自然体験型環境教育の活動プログラムを実施する。

- 事業の概要**
- (1) 推進体制の整備
- ・指導者養成事業(指定管理者へ委託)  
子ども自然学校ボランティア養成事業  
(実施主体: 県立4施設)
  - ・学習教材等の整備充実(指定管理者へ委託)  
事前、事後学習及び野外活動に必要な教材備品等の整備
- (2) 個人参加型プログラムの提供(指定管理者へ委託)
- ・オールシーズンチャレンジ  
1年を通じ、土・日・長期休業期間を利用し、通算10日間程度の活動
  - ・サマーチャレンジ  
夏季休業中に1泊2日～3泊4日程度の活動
  - ・ファミリーチャレンジ  
親子参加型の日帰り・1泊2日の活動
- (3) 広報・PR活動
- 案内パンフレットの作成(小学4～6年生に配付)

**これまでの見直し状況**

H14～H18 学校活動型実践推進事業(毎年50校、5ヵ年で全小学校に補助)  
H15～ インタープリターセミナーへの教員派遣(毎年50校)  
H18 学校活動型実践推進事業の検討(H19年度より廃止)  
H19 集団宿泊自然体験活動担当者連絡会議の開催  
H20 指定管理者へ委託  
石川県教育センター研修講座「集団宿泊自然体験活動」を開催(H24年度で廃止)

施策・課題の状況					
施策	石川の文化や風土を生かした体験学習の推進				評価
課題	いしかわ子ども自然学校の実施				
指標	「いしかわ子ども自然学校」参加者数			単位	人
目標値	現状値				
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
5,400	2,910	3,961	4,218	4,864	

事業費						
(単位: 千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	9,618	8,047	7,168	5,963	5,322
	決算	9,047	8,046	6,943	5,799	
一般	予算	9,618	8,047	7,168	5,963	5,322
	決算	9,047	8,046	6,943	5,799	
事業費累計		148,649	156,695	163,638	169,437	174,759

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海洋体験活動推進事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度		作 組 織	生涯学習課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 清水 茂

**事業の背景・目的**  
 能登高等学校実習船「おおとり丸」を活用した洋上体験や舢倉島での離島体験を通して、海洋生物調査または動植物観察による環境学習や島民との交流による離島生活に関する学習を行う。また、青少年教育施設での集団宿泊活動を行う中で、社会性やたくましさを育むとともに、参加した小中学生相互の交流を図る。

**事業の概要**  
 (1) 体験内容  
 ①Aコース(洋上体験＋少年自然の家)  
 [1日目]・「おおとり丸」:七尾湾洋上体験活動(海水・生物調査等の環境学習、ロープワークなど)  
 ・鹿島少年自然の家:集団宿泊体験(野外炊飯、星空観察など)  
 [2日目]・のどしま水族館:飼育体験活動(又はドラム缶風呂)  
 ・鹿島少年自然の家:集団宿泊体験(テント泊など)  
 [3日目]・鹿島少年自然の家:自然体験活動(イカダ体験、釣り体験など)  
 ・回数:4回(7/23～25、7/30～8/1、8/6～8、8/20～22)  
 ・募集定員:72人/4回  
 ・参加費:5,000円

②Bコース(少年自然の家＋離島体験)  
 [1日目]・能登少年自然の家:自然体験活動(大型カヌー体験、磯遊びなど)  
 [2日目]・舢倉島:離島体験活動(島の人々との交流、野鳥・植物観察による環境学習)  
 [3日目]・能登少年自然の家:自然体験活動(魚釣り体験など)  
 ・回数:2回(7/26～28、8/2～4)  
 ・募集定員:110人/2回  
 ・参加費:小学生:6,500円 中学生:8,500円

(2)対象  
 小学校5年生～中学校3年生

これまでの見直し状況  
 H25 定員の増加 Aコース42人増加 (H24(30人/2回)) Bコース10人増加 (H24(50人/2回))  
 行程の拡充 1泊2日→2泊3日  
 直営から委託への切り替え

施策・課題の状況						
施策	石川の文化や風土を生かした体験学習の推進					評価
課題	海洋チャレンジプログラムの実施					
	指標	参加児童・生徒の満足度			単位	%
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	100				98.3	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				3,000	2,500
	決算				2,037	
一般財源	予算				3,000	2,500
	決算				2,037	
事業費累計		4,537			2,037	4,537
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						